

学校評価の分析と考察

I 教職員評価より

(1) A + B の合計が 5 ポイント以上アップした項目

ア 10 ポイント以上アップ… I②、 III②、 IV④

イ 5 ~ 10 ポイントアップ… I③、 II②、 III③、 III④、 IV③

(2) A + B の合計が 5 ポイント以上ダウンした項目

ア 10 ポイント以上ダウン… II③

イ 5 ~ 10 ポイントダウン…なし

上記(1)に挙げた項目以外も全体的にポイントはアップしている。また、昨年度と比較して、Aのポイントが上がっており、教職員の学校に対する自己評価は上がっているといえる。

唯一ポイントの下がっていた項目II③については、タブレットの持ち帰りに関する内容が含まれており、本校は今年度4年生以上で1回しか持ち帰りできなかったことからこのような評価になったと考える。

次年度は、タブレットの持ち帰りに対して、積極的に取り組んでいく必要がある。

2 保護者評価より

(1) A + B の合計が 5 ポイント以上アップした項目

ア 10 ポイント以上アップ…なし

イ 5 ~ 10 ポイントアップ… V⑦

(2) A + B の合計が 5 ポイント以上ダウンした項目

ア 10 ポイント以上ダウン…なし

イ 5 ~ 10 ポイントダウン… III②、 III③、 V③

全体的に見て、昨年度の学校評価と大きな変化は見られなかった。

唯一ポイントがアップしていた項目V⑦については、家庭での取組に関するこの防災分野に関することで、宮崎でも強い地震が発生する中、南海トラフ地震に対する防災意識の高まっているといえる。

ダウンしている項目の内、III②については、教職員評価ではアップしている項目であり、保護者へ学校での取組が十分伝わっていないと考える。次年度は、校長が随時更新しているHPの紹介や、学級通信を始め他の情報発信を利用して、学校での取組を積極的に発信していく必要がある。また、III③については、前年度と評価項目を変更しているため比較できなかった。

3 学校運営協議会評価より

Eと回答されたもの以外では、すべての項目でAかBの評価をいただいている。本校教育に対して高く評価していただいている。